# 区政への一般質問

## （要　旨）

〈全文は、区議会のホームページに掲載します〉

## 中妻じょうた（民進党）

**中国北京市石景山区公式訪問の成果について問う**

【質　問】双方の共通課題である子育てや介護に関して、人的交流や情報交換を石景山区と積極的に行ってはどうか。

【区　長】文化交流や訪問の際などの機会を捉え、情報交換を適宜行っていく。

**個別整備計画について問う**

【質　問】新河岸公園内集会所の廃止を撤回し、適切な時期に建て替えて維持するよう求めるが見解は。

【区　長】老朽化が進み、狭あいで利用率が低い状況にあり、近隣に地域住民が利用可能な集会施設があることから、計画通りに進めたいと考える。

**障がい者福祉について問う**

【質　問】発達障がい者支援センターの開設に向け、当事者、区、JKK、法人による意見交換体制の早期構築を。

【区　長】関係者との情報共有と連携促進に向け、協力体制の構築を積極的に進める。

**放置自転車対策を問う**

【質　問】南常盤台バス停付近の都道における放置自転車の多さに住民が迷惑をしている。都と協議し対策を。

【区　長】バス停の乗降者数が少なく、駅からの距離があるため、放置禁止区域への指定は困難。都と協力し円滑な通行の確保に向けて取り組む。

**※以上のほか、区施設の通年開館について質問があった**

## 佐藤としのぶ（民進党）

**喫煙課題について問う**

【質　問】①加熱式たばこの屋内利用について、区で統一した条件整理などを行い、事業者などに指導すべきでは。②路上禁煙地区であっても、加熱式たばこは禁止しないという自治体が増えている。区でも取扱いを検討しては。

【区　長】①国は、加熱式たばこの健康への影響について知見が不十分として、結論を先送りにしている。今後の国の法制化を見守る。②直ちには考えていないが、国や他の自治体の動向を注視し必要な調査を行う。

**熱中症対策について問う**

【質　問】①日本気象協会が実施する「熱中症ゼロへ」のキャンペーンに多くの自治体が参加している。区も参加すべきでは。②区内主要施設にウォーターサーバーを設置し、熱中症対策の休憩所として利用できるようにしては。③区の防災・緊急情報メール配信サービスで、高温注意情報などとあわせて光化学スモッグ注意報を配信してみては。

【区　長】①登録要件や他の自治体の取組み状況などを見極め、検討を進める。②ふれあい館や、いこいの家に猛暑休憩所を設けている。休憩所の増設に向けて、補助金の活用も含めて検討する。③区民の健康影響などを踏まえ、メール配信サービスの活用を検討する。

ふれあい館の猛暑休憩所

## 石井勉（自民党）

**農業振興について問う**

【質　問】①農業従事者の育成の観点から、小・中学生から農業に親しむことが大切。学校給食に区内産農物を使うなどの食育事業が高い効果を上げているが、一部だけでなく、種まきから収穫までやり遂げることで農業の価値が子どもたちに伝わると考える。そのためには、一定の広さがあり年間を通じて使える農園が必要。耕作者が高齢化などで手放さなくてはならなくなった農地を借用し、学校用農地として使用する仕組みづくりを検討しては。②小・中学校が学校農園で農業体験を行う場合、学校側の積極的な対応が必要。カリキュラムにおける目的や目標を明らかにすること、時間の確保、教員の配置など、実現に向けてはいくつものステップを経る必要があるが、これには、農業単独の時間ではなく、区の伝統文化を学習する課程や部活動などの教材として農業学習を利用することも一案である。いずれの方法にせよ、農業の価値に対する学校全体の共通認識が不可欠。そこで、現在、小・中学校の校長は農業に関してどのような意識でいるのか。また、今後、意識啓発を行う考えがあるか。

【教育長】①農業の重要性や農地保全の必要性、地産地消の推進などの観点から、本区の児童・生徒が区内産業である農業を理解することは意義のあることと認識している。現在、紅梅小学校および赤塚小学校では、借用した土地で年間を通した農業体験学習に取り組んでいるが、限られた授業時数の中で、土地所有者など、近隣住民の多大な協力により実施できている状況である。今後、新たな農地を借用し、学校農園として区立全小・中学校の教育活動で活用していくには、土地所有者の協力のほか、近隣住民の継続的な協力・支援体制が確立できなければ難しく、各学校の状況なども踏まえつつ、個別に検討したい。②農業に関する意識について、各学校長は、体験活動は生きる力の基盤となり、特に農業体験は食と食生活への関心を高めるとともに、人間関係を構築する力の育成や豊かな人間形成を図るうえでも大きな役割を果たすと認識している。校長の意識啓発については、今後、地域や専門家の継続的な協力・支援体制のもと、学校事情に合わせて、特色ある教育活動の一つとして導入できる可能性を、個別に検討する。

**東武練馬駅前踏切における安全確保について問う**

【質　問】長年にわたり関係機関との協議を進めてきたが、なかなか解決の糸口が見つからず、対応に苦慮していると認識する。29年に入り、区は練馬区側の関係機関と具体的な協議を始めたと聞いているが、今後の踏切対策の見通しと、関係機関との協議の進捗状況は。

【区　長】29年2月、練馬区の関係3団体と、東武練馬駅前踏切の危険性の認識・共有と今後継続して協議していくことの確認をした。その後、4月から5月に、徳丸町会長会議、徳丸商興会幹事会、北町二丁目町会役員会に区の職員が出席し、踏切の安全確保には交通規制が必要であることを説明した。そして6月に、関係3団体に対して、交通規制に関する3つの案を提示し、各団体からの回答を取りまとめ、29年度中をめどに所管の警察署に交通規制を要望することを考えている。

**※以上のほか、区財政、ご当地ナンバーについて質問があった**

## かいべとも子（公明党）

**実用英語技能検定の受験料全額負担を求めて**

【質　問】英語学習意欲の向上、英語技能の達成状況把握のために、実用英語技能検定の受験料や小学校第6学年にあっては英検Jrの受験料の全額負担実施を。

【教育長】助成を行うことは、多くの児童・生徒にとって英語学習への意欲向上につながると考える。実用英語技能検定および英検Jrの受験料助成について引き続き検討する。

**選挙の若者参加と投票率向上を問う**

【質　問】投票率向上とともに、選挙への関心・啓発につながるため、商業施設への期日前投票所の設置を。見解は。

【選挙管理委員会事務局長】当日投票所と同様に、適切な投票環境を有する施設であることなどが必要なため、基本的には公共施設に設置せざるを得ないと考える。投票率向上や啓発活動推進を図る中で、商業施設の活用も検討する。

**聴覚障がい者とのコミュニケーション向上を**

【質　問】聴覚障がい者への窓口対応をより円滑に行えるよう、福祉関係の部署にコミュニケーションアプリ「UDトーク」の導入を求めるが見解は。

【区　長】同アプリは、手話通訳がいない窓口での聴覚障がい者への対応などに効果があると思われる。今後、「UDトーク」も含め、情報機器を活用したコミュニケーション向上策について検討する。

**見守りキーホルダーを問う**

【質　問】区では高齢者見守りキーホルダーを作成しているが、障がい者においても、外出先で帰宅困難な状況時に家族と連絡を取ることが難しい場合がある。障がい者も事業の対象とすべき。見解は。

【区　長】障がい者への見守りキーホルダー事業の実施について検討を進める。

**お薬相談バッグの推進を**

【質　問】医療機関を受診する際、お薬相談バッグを配布し、自宅にある残薬をかかりつけ薬局に持参してもらうことで、重複薬投与による副作用防止や医療費削減につながる。区でも推進すべき。見解は。

【区　長】福岡市実施の残薬調整事業では、薬剤費の約20％を削減できたとの成果が報告されている。医療費適正化事業として区でも検討する。

**※以上のほか、東京で一番住みたい街づくり「アンダー50」、保育園サーベイランスシステムの導入、自転車事故の備え、仮称「板橋発掘まちなみロード」について質問があった**



## 田中いさお（公明党）

**災害時における事業者の一斉帰宅抑制を問う**

【質　問】都では、発災時、「むやみに移動を開始しない」という基本原則のもと、事業者に対し、3日間の従業員一斉帰宅の抑制を促している。一斉帰宅抑制について、区の取組みと現状は。

【区　長】東京都帰宅困難者対策条例の施行を受け、区では、帰宅困難者対策に係る連絡調整会議を設置し、都条例の周知を行うとともに、一斉帰宅の抑制などを促している。また、帰宅困難者対策として、一時滞在施設の充実を図り、支援体制を整えている。

**コミュニティタイムラインの推進を求めて**

【質　問】区内の水害が起こりうる地域について、コミュニティタイムラインを策定し、きめ細かな水害対策の実施を求めるが、見解は。

【区　長】被災を減らすため地域住民が主体的にコミュニティタイムラインを策定することは大変重要。区としても、総合防災アドバイザーとともに、コミュニティタイムライン策定に係る支援を通じて、地域と一体となった水害対策に取り組む。

**いたばしくワンニャンバンクの機能強化を求めて**

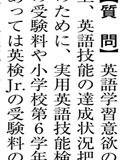
【質　問】独居高齢者が飼育している動物が、飼い主にもしものことがあった時、殺処分とならない区の取組みが必要。おとしより保健福祉センターとの連携で、高齢者に飼われている犬猫に関して、いざというときの保護強化と、いたばしくワンニャンバンクの機能強化を。

【区　長】飼い主が信頼して託せる人にお願いすることが望ましく、そのためにも万が一の時に備え、早目に考えることを啓発する。いたばしくワンニャンバンクについては、ペットを譲りたい人と譲り受けたい人をつなぐ場として今後もPRに努めるとともに、高齢者にも利用しやすくするなど、充実に向け検討する。

**志村ふれあい館付近へのバス停設置を求めて**

【質　問】志村ふれあい館は、最寄りのバス停から約400ｍの距離があり、高齢者にとってこの距離は苦痛である。区からバス事業者にバス停の新規設置を求めるよう要望する。見解は。

【区　長】区民などから要望を受け、バス事業者に要望内容を伝えているが、実現には至っていない。地域の要望を踏まえ、改めて志村ふれあい館付近の環八通りへのバス停設置の要望を伝えていく。



## 杉田ひろし（自民党）

**東京2020大会における事前キャンプの誘致を求めて**

【質　問】多くの区民がオリンピアンやパラリンピアンと直接交流ができるように、事前キャンプなどの誘致や様々な交流事業の実現に向け、引き続き積極的な取組みを求める。区の事前キャンプなどの誘致活動の進捗状況は。

【区　長】大会前に練習を行う事前キャンプ、大会期間中に体育施設で練習を行う競技団体の誘致については、大使館、競技団体、都などへPR活動を実施してきた。その結果、28年度からいくつかの競技団体などの視察申込みがあり、視察をした競技団体に継続的な働きかけを行っている。

**発達障がい者支援センターについて問う**

【質　問】センター長をはじめとする、相談員や支援員の配置については、発達障がいに対する深い見識を有し、地域の社会資源との連携が図れる経験豊富な専門員の選定を求める。センター長の選考を含む職員の体制づくりの進捗状況は。

【区　長】職員体制づくりの進捗状況については、施設が有効に機能するような人材を登用し、適切な職員体制を法人に求めていく。特に要となるセンター長は、早期に調整し、優秀な人物を確保できるよう努める。

**障がい者の雇用促進を求めて**

【質　問】新中央図書館における「いたばしラウンジ」への障がい者雇用は、障がい者と図書館利用者との温かい交流が育まれると考える。障がい者雇用促進の検討を。

【教育長】新中央図書館は、緑と文化を象徴する図書館として、緑に囲まれた快適な環境の中でゆったり読書できる空間の整備をめざしている。そのため、飲食ができ、利用者相互の交流を促進し、憩いの場となるいたばしラウンジを設置する予定である。先進自治体の取組み事例を研究し、障がい者雇用の促進に資するよう、運営条件や内容、設置場所などの検討を進める。

**板橋区コミュニティ・スクールについて問う**

【質　問】板橋区の宝である子ども達の豊かな成長を支え、地域の活性化に資するものとなるよう期待しているが、導入にあたり基本的な考え方および設置目的についてどのように考えるか。

【教育長】コミュニティ・スクールは、30年度に全小・中学校で実施する学校支援地域本部と両輪・協働の関係で運営することにより、学校の教育活動を支援する仕組みである。設置目的は、どのような子どもを育てるか、子どもが抱える課題は何かを学校と地域が共有し、関係者が皆当事者意識を持って取り組むことで、地域の活性化を図ることである。

**踏切対策について問う**

【質　問】大山駅付近以外では鉄道立体化の見通しが立たない現状を直視し、区民の安心・安全の観点から、個別の踏切対策を、これまで以上にスピード感を持って推進していくべき。見解は。

【区　長】大山駅付近以外では、ときわ台から上板橋駅付近が都の方針で鉄道立体化の検討対象区間に位置付けられている。鉄道立体化の検討対象区間でないその他の区間については、長期的な視点で立体化をめざしつつ、当面の安全対策として、個別の踏切対策を検討したい。

**※以上のほか、都立城北中央公園内の陸上競技場の整備、民泊、地域猫対策、私立幼稚園における一時預かり保育事業について質問があった**



## 川口雅敏（自民党）

**小学校の外国語教育について問う**

【質　問】①小学校では学級担任が英語を教えることになるが、指導のレベルは統一されているか。小学校の教員を対象にした外国語活動や外国語研修の受講が必要である。見解は。②新たに外国語活動が導入される小学校3、4年生、英語科が導入される5、6年生には、時間割に大きな影響が及ぶと推察する。過密化する時間割に対し、教科横断的な視点で教育課程を編成し、人的・物的資源などを効果的に組み合わせて施行し、実施状況を踏まえつつ、教育課程の評価・改善を図ることを通して、教育活動の質の向上を進めるカリキュラムマネジメントの考え方を英語科に適用することも必要。見解は。③小学校5、6年生で英語が教科化されることは、中学受験において、英語が受験科目の一つになるということが考えられる。保護者の求める授業内容の質が高まることが想定されるが、授業改善についてどのように考えるか。見解は。

現在使用している小学校の英語教材

## 小林公彦（公明党）

**いたばし版ネウボラの拡充を求めて**

【質　問】就学前と就学後で所管が厚労省から文科省に移り、福祉と教育の切れ目をどうつなぐかが課題。区は、この課題を踏まえ今後どのようにいたばし版ネウボラ、「妊婦・出産ナビゲーション事業」を拡充していくのか。見解は。

【区　長】乳幼児の発達を支援する関係機関連絡会において頁頃から連携を図り、就学時についてもサポートしている。今後、妊婦面接率のさらなる向上に加え、支援方法などについて評価・検討し、事業の質の向上に努める。

**民法改正に伴う区行政の対応について問う**

【質　問】生活に直接影響を及ぼす民法の債権法改正について、いち早く対応し、区民生活に支障が及ばないよう周知して理解してもらうことが必要。区長の見解は。

【区　長】改正施行までの間、区民生活に特に影響が大きいと思われる項目について、国や都と連携しながら、区民への周知を適切に行う。

**空き家対策について問う**

【質　問】29年4月、改正住宅セーフティネット法が成立した。この法律は、高齢者などの住宅確保要配慮者に対し、空き家を活用して入居を促進するものである。今後、区はどのように具体化するのか。

【区　長】新たな住宅セーフティネット制度に関する国などの動向を注視し、住宅確保要配慮者に対する空き家対策などを検討し取り組む。

**施設整備について問う**

【質　問】民間活力を利用しサッカー専用スタジアムやBリーグ発足時に示されたアリーナ基準を満たす屋内アリーナ、ハイライフプラザよりも規模の大きいイベントホールの3施設の整備の可能性は。

【区　長】スタジアム、屋内アリーナについては、用地確保などの課題があり難しいと考える。イベントホール整備については、高島平グランドデザインなどのまちづくりを踏まえ、公共施設全体の整備を引き続き検討する。

**史跡縁切榎周辺整備を問う**

【質　問】旧板橋第三小学校跡地に、集会所新設と観光資源を回遊する際の休憩場所などの設置を含めた、史跡縁切榎周辺整備計画の推進を要望するが、見解は。

【区　長】同小学校跡地周辺は、観光資源が豊富な地域と認識している。29年度に旧板橋第三小学校跡地利用基本構想を取りまとめ、休憩場所や集会機能などを持つ施設、広場などの施設整備を進める。

（6面に続く）

史跡縁切榎